



Annual Review 2017

(2017年4月1日—2018年3月31日)

Design the Future



未来をフルサポート

フルサト工業

- 02 ごあいさつ
- 02 経営方針
- 03 グループ企業構成
- 04 事業セグメント別概要と当期の業況及び次期見通し
 - 連結当期の業況
 - 機器・工具セグメント
 - 機械・設備セグメント
 - 建築・配管資材セグメント
 - 次期の見通し
 - 中長期的な取組みと課題
- 18 連結財務サマリー
- 20 トピックス
 - フルサト流「働き方改革」
- 21 コーポレート・ガバナンス
 - コーポレート・ガバナンスの概要
 - リスク情報
- 26 株式・株主還元の状況
- 28 フルサトグループの沿革
- 29 会社概要

将来予測表明に関する特記

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

株主・投資家ならびに全てのステークホルダーの皆さまへ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第60期は、フルサト工業の主要7工場で新生産システムの本格運用を進め、時間当たりの生産量の増加および加工費の低減が見られました。今後も、事業環境に左右されない安定した収益基盤を構築すべく、生産効率の向上に取り組んでまいります。

また、昨年12月に、ロボット安全講習やロボット導入コンサルティング等を行なうロボットテクニカルセンター(RTC)を東京に開設いたしました。ロボットの導入を検討されている企業様へのアプローチを強化し、導入コンサルティングにつながる仕組みを構築してまいります。

このような状況において、当社グループでは、2020年3月期を最終年度とする中期経営計画がスタートし、初年度を終えました。様々な施策に取り組み、売上高は順調に推移しましたが、利益面では計画を下回りました。2年目も収益性の改善等に注力し、最終年度での売上高1,080億円、営業利益40億円の達成に向けて着実に各施策を進めてまいります。

皆様には、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

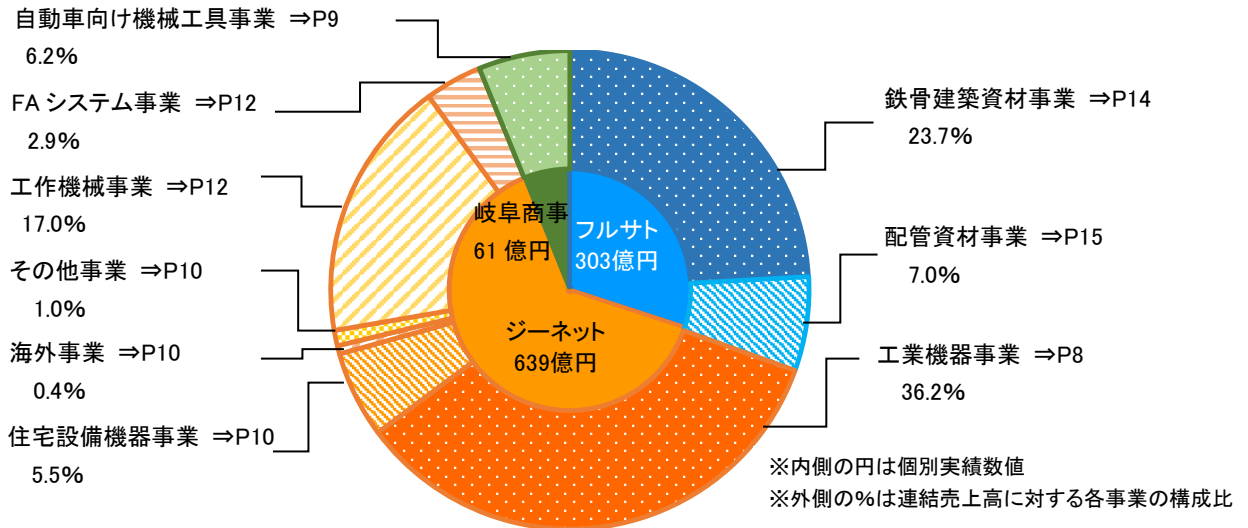


取締役社長 古里 龍平

会社の経営基本方針

フルサトグループは、企業市民であることを強く意識し、社会に必要とされることにより存在する意義があると考えております。その上で、株主、顧客等、フルサトグループに関与する人びとへの責任を全うするため「永続」することを目的として経営を行なっております。

◆フルサトグループ 個別企業別・連結事業別売上高構成比



フルサトグループ

フルサトグループは、親会社のフルサト工業株式会社、100%子会社の株式会社ジーネット及び岐阜商事株式会社、非連結子会社の蘇州雷特爾機電貿易有限公司 (China)、Retra Engineering(Thailand)及び株式会社セキュリティデザイン、持分法非適用の関連会社である、株式会社ロボットテクニカルセンターの7社で構成されています。

フルサト工業株式会社

フルサト工業は、東証1部に株式を上場し、鉄骨建築資材事業と配管資材事業を展開しています。全国に営業拠点 50ヶ所、工場 10ヶ所、物流拠点 2ヶ所を持ち、直販を行なっています。詳しくは、P14～P15をご覧ください。

株式会社ジーネット

ジーネットは、株式未公開の完全子会社です。主要な事業は、機器工具類の卸売を行なう工業機器事業で、他に工作機械事業、FAシステム事業、住宅設備機器事業、海外事業等の事業で構成されています。

営業拠点 30ヶ所、物流センター3ヶ所を持ち、主に販売店を通じて、販売しています。詳しくは、P8、P10、P12、をご覧ください。

岐阜商事株式会社

岐阜商事は、株式非公開の完全子会社で、岐阜本社、刈谷、浜松の各支店を中心に、東海地区の自動車メーカーや自動車部品メーカーに工具類を中心として直接販売を行なっています。詳しくは、P9をご覧ください。

◆フルサトグループ 各企業、各セグメント、各事業との相関性

